

②③ 中学校・高等学校 家庭

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

1 次の文を読み、次の(1)～(4)に答えなさい。

- ・ 契約とは、法的に守られた「約束」である。商品の購入を法律的な側面から見ると、事業者(売り手)と消費者(買い手)の間の契約(売買取引)である。契約すれば、それを守らなければならない。契約をする前に、よく確かめる必要がある。
- ・ 商品の多様化や販売競争の激化に伴って、販売方法が多様化し、店舗によらない販売方法が増えている。なかには、路上でしつこい勧誘をするなど、問題商法も少なくない。
- ・ 消費者問題が社会的な問題として取り上げられ、消費者にかかわる法律が制定されている。その中に消費者保護のため、契約を結んだあとでも、一定期間内であれば、消費者が理由なしで一方的に契約を解除することを認めるクーリング・オフ制度がある。

(1) 下線部Aについて、次の①、②に答えなさい。

- ① 電話で学習教材を勧められ購入を約束した場合、契約が成立するのはいつか。次のア～エから1つ選び、その記号を書きなさい。

- |               |                |
|---------------|----------------|
| ア 教材を受け取った時   | イ 電話で申し込むと言った時 |
| ウ 契約書に印鑑を押した時 | エ 代金の支払いを始めた時  |

- ② 未成年者が契約したとき、本人または両親などの法定代理人が契約を取り消すことができる場合はどれか、次のア～エから1つ選び、その記号を書きなさい。

- |                               |                     |
|-------------------------------|---------------------|
| ア セールスマンに勧められ、契約書に21歳と書かされた場合 | イ 結婚している場合          |
| ウ 成人であると年齢を偽った場合              | エ 安価な文房具や駄菓子を購入した場合 |

- (2) 下線部Bの販売方法の名称を書きなさい。また、その販売方法の長所と短所を書きなさい。
- (3) 下線部Bによりネットショッピングやネットオークションを装い、偽のホームページにアクセスさせ、クレジットカードの番号や暗証番号などの個人情報を盗みとるなどの詐欺が増えている。この詐欺の名称を書きなさい。
- (4) 下線部Cのクーリング・オフ制度は、通信販売には適用されないが、自主的にこの制度を実施している業者がある。そのような業者を選択するめやすとして広告やカタログなどに適用を示しているマークがある。そのマークの名称を書きなさい。

2 次の(1)～(5)はそれぞれ何について説明したものか、適する語句を書きなさい。

- (1) 人間が独立して生活するために必要な基本的動作や活動。食事、衣服の着脱、入浴、身だしなみ、排せつ、寝起き、移動、コミュニケーションなどが含まれる。
- (2) 記憶力や判断力が低下する疾病で、自分の家族の顔もわからなくなったり、あてもなく歩き回るなど、日常生活にさまざまな障害があらわれる。
- (3) 人間の生活を身体機能や物質的豊かさからだけでなく、総合的にとらえる考え方。文化・レクリエーション活動、交友関係、生涯発達、自己実現などの視点が重視される。
- (4) おおむね60歳以上の高齢者の希望に応じて、臨時かつ短期的な仕事の提供を目的としている公益法人。
- (5) 「ある文化に特徴的な言語や知識にかかわる能力であり、生活経験、職業経験、地域文化など人生を通じて学んできたものの蓄積の上に形成され、年齢による衰えがほとんどない。」という知能。

②③ 中学校・高等学校 家庭

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

3 次の(1)～(4)に答えなさい。

(1) 次の①～④は青年期の自立について示したものである。①～④の自立の名称を書きなさい。

- ① 衣食住にわたる自分の身のまわりの家事や健康管理を、自分自身で実行できる。
- ② 実生活で起こる各問題に対して、自分で意思決定し、自覚と責任をもって行動できる。
- ③ 社会人になったとき、自分が生活していくための収入を得ることができ、得た収入や支出を管理できる。
- ④ 自分の「性」だけでなく、異性の「性」を尊重し、責任ある行動ができる。

(2) 次のア～エのうち核家族の形態であるものをすべて選び、その記号を書きなさい。

ア 夫婦二人      イ 父母と未婚の子ども      ウ 祖父母と父母と未婚の子ども      エ ひとり親と未婚の子ども

(3) 家族の機能について、2つ書きなさい。

(4) 厚生労働省が次のように定義している者は何というか、その名称を書きなさい。

15歳～34歳の学校卒業者(女性は学校卒業者で未婚の者)のうち、①勤め先における呼称が「パート・アルバイト」の雇用者、②完全失業者のうち探している仕事の形態が「パート・アルバイト」の者、③非労働力人口のうち希望する仕事の形態が「パート・アルバイト」で、家事も通学も就業内定もしていない者。

4 次の文を読み、次の(1)、(2)に答えなさい。

(1) 文中の①～④に適する数値や語句を書きなさい。

(2) 高齢期の健康面において介護に関する問題がある。これまでの家族を中心とした介護から、社会全体で支え合う介護の仕組みであるドイツの制度を手本に2000年4月に制定された制度がある。その制度の名称を書きなさい。

②③ 中学校・高等学校 家庭

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

5 次の文を読み、次の(1)～(3)に答えなさい。

- (1) 文中の①～⑥に適する語句を書きなさい。
- (2) 新生児期はいつまでか、書きなさい。
- (3) 新生児の反射行動の1つに原始反射がある。くちびるにふれると吸うような行動をする原始反射の名称を書きなさい。

6 次の(1)～(6)は、それぞれ何について説明したものか、適する語句を書きなさい。

- (1) 人の動きの軌跡。短く単純であることがよいとされる。家族や客の移動する軌跡が交差しないことなども重要である。
- (2) 床面に座る形式の床座(畳座ともいう)、いすに座る形式のいす座など、部屋における座の取り方にかかわる様式。
- (3) 建築基準法で定めており、日照や通風を確保するため、敷地面積に対して建てられる建物の広さ(建築面積)の割合。
- (4) 流し台、調理台、レンジ、収納ユニットなどを機能的に組み合わせた台所設備。
- (5) 室内環境における照度を表す単位。
- (6) 家族ではない複数の人が、マンションやアパートの一戸で共同生活を送ること。

②③ 中学校・高等学校 家庭

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

7 次の文を読み、次の(1)～(3)に答えなさい。

(1) 下線部Aについて、次の①～③は何という説か、書きなさい。

- ① 気候の変化や外敵から体を守るために着用したという説
- ② 悪霊から逃れるためという説
- ③ 体を美しく見せるために着飾ったという説

(2) 下線部Bの条件の1つであるT.P.O.について、説明しなさい。

(3) 被服は構成上、下の表の2つに分類される。次の①～⑧に適する語句を書きなさい。

8 次の文は鶏卵について述べたものである。次の(1)～(6)に答えなさい。

卵は、1個の重さが50～60gで、卵黄部、卵白部、卵殻部の割合はほぼ(①):(②):1である。たんぱく質は必須アミノ酸のバランスがよく、ビタミン(③)を除く各種ビタミンや無機質に富むため、栄養的にすぐれた食品である。脂質のほとんどは(④)に存在し、脂肪のなかにりん脂質、コレステロールが含まれている。りん脂質の(⑤)には、乳化作用がある。卵にはさまざまな調理上の性質があり、利用範囲が広い。

A

(1) 文中の①～⑤に適する数値や語句を書きなさい。

(2) 下線部Aについて、熱凝固性や乳化性以外の性質とその調理例をそれぞれ3つ書きなさい。

(3) 卵をゆですぎると、ゆで卵の卵黄のまわりが暗緑色になる。この理由を書きなさい。

(4) 授業の中でゆで卵(完熟)をつくるには、どのような実技指導をするのか。ガスこんろ、鍋、菜箸、水の4つの語句を用いて、説明しなさい。

(5) 古くなるにつれて大きくなるのは卵のどの部分か、漢字で書きなさい。

(6) 卵の殻を割った生卵の鮮度の見分け方として、2種類の卵白の比率が変化することを利用した方法がある。この2種類の卵白の名称を漢字で書きなさい。

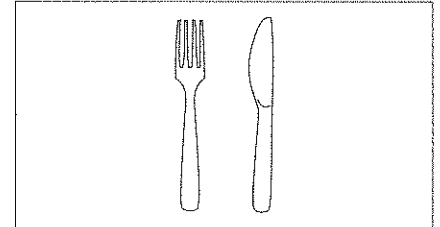
㉓ 中学校・高等学校 家庭

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

9 中学校受験者及び特別支援学校(中学部, 高等部)受験者は(1), 高等学校受験者は(2)に答えなさい。

(1) 次の①~③に答えなさい。

- ① 伝統的な和食において、無作法とされる箸使いを3つ書きなさい。
- ② 右のナイフとフォークの形状を参考にして、食事時のナイフ・フォークの正しい置き方を図で示しなさい。
- ③ 西洋料理において、食事後ナプキンはどのようにするのか、書きなさい。



(2) 次の①~④はそれぞれ何について説明したものか、その名称を書きなさい。

- ① レモン, グレープフルーツ, オレンジなどのかんきつ類のカビ発生を防止するために果実の表面にぬられる物質。
- ② 食品の栄養成分の量など栄養表示基準に掲げる事項を第31条第2項において定めている法律。
- ③ ネギ特有の刺激的香気。ビタミンB<sub>1</sub>とよく結合して吸収を助け、消化液の分泌を促す効果があるといわれる物質。
- ④ 成虫は長さ40~50mmで、幼虫はアジ, サバなどに寄生する線虫類に属する寄生虫。食品の冷凍や加熱処理により死滅する。

10 中学校受験者及び特別支援学校(中学部)受験者は(1), 高等学校受験者は(2), 特別支援学校(高等部)受験者は(3)に答えなさい。

(1) 新中学校学習指導要領「技術・家庭」について、次の①, ②に答えなさい。

- ① 新中学校学習指導要領「技術・家庭」の「各分野の目標及び内容」の「家庭分野」の「目標」について、次のア~オにあてはまる語句を書きなさい。

衣食住などに関する(ア)的・体験的な学習活動を通して、生活の(イ)に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、(ウ)の機能について理解を深め、これからの生活を(エ)して、(オ)をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

- ② 新中学校学習指導要領解説「技術・家庭編」の「総説」の「技術・家庭科改訂の要点」について、次のア~オにあてはまる語句を下のa~jから選び、その記号を書きなさい。

- 「A 家族・家庭と(ア)」においては、少子高齢化や家庭の機能が十分に果たされていないといった状況に対応し、幼児への理解を深め、子どもが育つ環境としての家族と家庭の役割に気付く幼児触れ合い体験などの活動を重視して改善を図った。
- 「B 食生活と自立」においては、心身ともに健康で安全な食生活のための(イ)を図る視点から、食生活の自立を目指し、中学生の栄養と献立、調理や地域の(ウ)などに関する学習活動を充実した。
- 「C 衣生活・住生活と自立」においては、衣生活と住生活の内容を、人間を取り巻く身近な環境としてとらえる視点から、1つの指導内容として構成した。その際、(エ)の製作を設けるなど、衣生活や住生活などの生活を豊かにするための学習活動を重視して改善を図った。
- 「D 身近な消費生活と環境」においては、社会において主体的に生きる消費者としての教育を充実する視点から、消費者としての(オ)や環境に配慮した生活の工夫などにかかわる学習について、中学生の消費生活の変化を踏まえた実践的な学習活動を重視して改善を図った。

- |      |         |           |          |       |
|------|---------|-----------|----------|-------|
| a 保育 | b 食育の推進 | c 布を用いた物  | d 子どもの成長 | e 自覚  |
| f 権利 | g 伝統文化  | h 生活に役立つ物 | i 栄養教育   | j 食文化 |

⑳ 中学校・高等学校 家庭

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

(2) 現行の高等学校学習指導要領解説「家庭編」について、次の①、②に答えなさい。

① 「専門教科「家庭」」の「各科目」の「食文化」の「目標」について、次のア～ウにあてはまる語句を書きなさい。

食生活の（ア）と文化、日本と（イ）の食文化などに関する知識と技術を習得させ、食文化の伝承と（ウ）に寄与する能力と態度を育てる。

② 「専門教科「家庭」」の「各科目」の「食文化」の「内容とその取扱い」の「内容」の「日本の食文化」について、次のA、Bに答えなさい。

ここでは、日本の食文化として、（ア）、（イ）、（ウ）について、具体的な料理や食事の内容を取り上げ、先人の知恵や食のもつ文化的、（エ）的な側面を考えさせる。また、伝統的な料理様式を取り上げ、時代背景とともにその特徴や（オ）について理解させる。

A 文中ア～オにあてはまる語句を、次のa～kから選び、その記号を書きなさい。

- |        |       |        |        |       |        |
|--------|-------|--------|--------|-------|--------|
| a 伝統料理 | b 社会  | c 郷土料理 | d 調理技法 | e 行事食 | f 食事作法 |
| g 食卓作法 | h 日常食 | i 日本料理 | j 歴史   | k 供応食 |        |

B 日本の伝統的な料理様式について、具体的な様式名を2つ書きなさい。

(3) 現行の高等学校学習指導要領解説「家庭編」について、次の①、②に答えなさい。

① 「専門教科「家庭」」の「各科目」の「課題研究」の「内容とその取扱い」の「内容の構成及び取扱い」について、次のア～オにあてはまる語句を下のa～jから選び、その記号を書きなさい。

この科目は、(1) 調査、研究、（ア）、(2)（イ）、(3)（ウ）等における実習、(4)（エ）資格の取得、(5)（オ）の5項目で構成しており、2～4単位程度履修されることを想定して内容を構成している。

- |        |      |        |      |             |
|--------|------|--------|------|-------------|
| a 作品製作 | b 上級 | c 観察   | d 実験 | e 学校家庭クラブ活動 |
| f 商品開発 | g 職場 | h 産業現場 | i 職業 | j ホームプロジェクト |

② 「普通教科「家庭」」の「各科目」の「家庭総合」の「内容とその取扱い」の「内容の構成及び取扱い」について、次のア～オにあてはまる語句を書きなさい。

この科目は、(1) 人の（ア）と家族・家庭、(2)（イ）の発達と保育・福祉、(3)（ウ）の生活と福祉、(4) 生活の科学と（エ）、(5)（オ）と資源・環境、(6) ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の6項目で構成し、標準単位数は4単位である。